

ASAGAYA

FUTURE VISION BOOK

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

目次

- P.01……将来像
- P.03……未来ビジョン全体像
- P.05……取組の柱
- P.11……阿佐谷北東エリアまちづくり
- P.13……ロードマップ



心豊かに暮らせる、

将来像

にぎわいのある魅力的なまち



※敷地①と敷地②の土地利用は未定

未来ビジョン全体像

未来ビジョンは、阿佐谷北東エリアに関わる私たちが、「こんなまちにしたい」という思いを描いたもので、みんなで未来をつくるための道しるべとなるものです。そこで掲げた将来像を実現するために、このビジョンに共感する方々とつながり、力を合わせながら、より魅力的なエリアへと育てていきたいと考えています。



1

6つの取組の柱

防災

エリアの特色と課題

①木造住宅が多く、周辺の道路幅が狭いため、地震による都市大火を防ぐためには、エリアの防災機能の強化が求められる

②災害発生時の一時避難地である馬橋公園へ通じる避難路（杉一馬橋公園通り）の幅員が狭い（約4.5m～6m）ため、災害時の消防活動や避難が困難になる恐れがある

③大雨によって洪水が発生した場合に浸水が予想される区域がある

④中杉通りは緊急輸送道路（災害時に緊急車両の通行を確保すべき道路）であるが、沿道には旧耐震基準で建てられた建築物、老朽化した横断歩道橋、路上駐車などがある



4

災害時に、避難・救助・物資の輸送など円滑に行えるように、緊急輸送道路の安全性を確保する

→ 中杉通りにおける安全対策の検討

など

1

災害による都市大火への対策として、防災活動の拠点を形成し、エリア全体の連携を強化することで防災機能を向上させる

→ 杉並第一小学校（震災救援所）や病院（東京都災害拠点連携病院）とエリア内の民間施設などが連携する協議の場を設ける

など

2

防災情報を地域で共有する手法や自助共助による防災活動を展開する



→ 当エリアを含めた周辺地区と馬橋公園（災害時一時避難地）との関係を考慮した地区防災計画の策定を検討

→ 地区町会連合会主催の防災訓練との連携

→ 初期消火対策の検討（例：スタンドパイプ設置と訓練、防災マップなど）

→ 防災に関する勉強会の開催

など

3

ハザードマップの浸水予想区域における具体的な水害対策を検討する

→ 浸水対策を広域的に検討
→ 基準値以上の貯水槽などの設置
→ 雨水流し対策

など

取組の方向性 → 取組（案）

2

6つの取組の柱

安全・安心

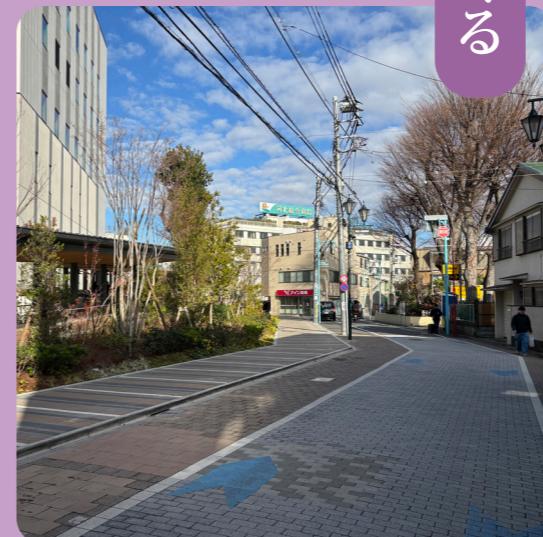
エリアの特色と課題

①中杉通りの歩道では、歩行者と自転車の錯綜が課題となっているほか、エリア内の道路整備・拡幅が進むことにより、路上駐車や路上駐輪など新たな課題が発生する恐れがある

②小学校の児童や総合病院の利用者が安心して歩ける歩行環境の整備が求められており、特に新進会商店街通りの東端交差点は、歩行者や自転車、車が混在しやすく安全対策が喫緊の課題である

③歩道状空地の各所有者が各自整備するのではなく、エリア全体で整備方針や共通ルールを設け、統一的な整備が必要

④夜間の商店街や人通りが少ないエリアなど照明が不十分で、人目の届かない場所には防犯面での対策が必要



だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

→ 中杉通りのパーキングメータ代替駐車場を設置

→ 杉並区自転車活用推進計画の自転車ネットワーク路線に準ずる整備の検討

→ 路上駐車や路上駐輪の対策の検討

→ 歩行者安全対策の検討

など

2

エリア内の歩道状空地の整備のあり方や管理に関する共通ルールを検討し、安全性の向上を図る

→ 歩道状空地などの舗装デザインの検討

→ 維持管理・修繕方法の検討

など

1

歩行者や自転車利用者の安全性を確保し、安心して利用できる交通環境の整備に向けた取組を進める

2

通学する児童や病院の利用者など誰もが、安心・安全に通行できる交通ルールを整備する

→ 当エリア内の車の速度は徐行とする

→ 新進会商店街の東端交差点の安全対策の検討（例：交通量の実態調査等）

など

4

みんなが安全・安心に暮らせるように防犯面の取組みを行う

→ まちの防犯診断と対策の検討（例：夜間の照明、防犯カメラ設置、公園の見守りなど）

→ 環境美化を通じた防犯対策の検討（例：ポイ捨ての抑制など）

など



3

6つの取組の柱

歴史・文化

エリアの特色と課題

- ①行政機関等が集約した南阿佐ヶ谷駅周辺に対し、当エリアは、社寺地、病院、学校など生活文化施設が多い。これらのエリア特性を活かし、魅力をさらに高めることが求められている
- ②150周年を迎えた杉並第一小学校や発掘された埋蔵文化財、古道の存在、駅至近に多く残されたみどりなど、地域の歴史や文化を周知し、次世代に継承していくことが必要
- ③エリア外からの訪問者に対しても地域の歴史や文化に関して積極的に情報発信し、知る機会を充実させることが必要



地域の特性を活かした歴史が感じられるまちをつくる

1

エリアの特性を活かし、古道を歴史が感じられる空間とし整備することで、エリアの魅力を向上させる



2

地域に対する愛着をより深めるために、地域の歴史や文化を次世代に伝える場づくりを推進する

→ 展示内容の企画
(例: エリア内の敷地から出土した埋蔵文化財、中杉通り開通の歴史など)

- 展示場所の検討
- 資料等のアーカイブ化
- 写真展などの開催と資料収集

など

3

歴史散歩を通じて、楽しみながらエリアの魅力を再発見、共有する機会を創出する

- 歴史情報に触れられる2次元コードなどの設置
- 地図や冊子の作成 (例: お散歩マップなど)

など



4

6つの取組の柱

みどりと環境づくり

エリアの特色と課題

- ①中杉通りのけやき並木や社寺地等のみどりを活かしたみどりのネットワーク化を進め、駅前でありますながら快適で潤いのある環境の向上が求められている
- ②保全した屋敷林の地域への開放やボケットパークの設置など、みどりの適切な保全や維持管理、活用方法を検討し、地域で共有する必要がある
- ③グリーンインフラの推進により、公共空間・公共的空間に自然を取り入れ、みどりと調和した持続可能で魅力ある地域づくりを進めることが求められている



豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる

1

みどりのネットワークを広げ、夏の暑さを緩和するクールスポットを増やし、快適で良好な生活環境を創出する

- 緑地の保全や沿道緑化の推進
- 屋上や壁面の緑化
- 屋敷林やみどりに関する勉強会や情報提供

など

2

緑化方針を策定し、地域の方々と協力し維持管理を行い、地域に愛されるみどりを育む

- エリアの緑化方針の策定を検討
- 維持管理の組織化
- 資金の募金
- イベントの開催

など

3

道路や歩道状空地、沿道緑地などの公共的空间にグリーンインフラを導入し、自然と共生する

- 雨庭の整備を検討
- 保水効果を高める舗装の導入
- 緑地に低木を植樹

など



5

6つの取組の柱

ウォーカブル

エリアの特色と課題

①歩行者が安全かつ快適に移動できるよう、歩道環境の整備を進めるとともに、エリアの魅力を感じられるまち全体の美観を維持向上させる工夫が必要

②公共空間・公共的空間において、それぞれの通りの特性を活かした魅力的な空間のあり方を検討し、歩いて楽しいまちとともに、私有地における利用マナーの普及を図る必要がある

③高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが安全かつ快適に歩けるまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザインに基づくサイン計画を導入するなど、直感的に情報を得られる環境の整備が求められている

④子どもが安全に遊べる場所や地域住民の交流・つながりを促進する地域のコミュニティを活性化する居場所の創出が求められている



快適でやさしさのある歩いて楽しいまちをつくる

- 電柱の地中化に伴う、地上機器や交通標識の設置方法の検討
- 清掃活動
- 仮囲いのアートイベントなど

- 区画道路1～13号の空間イメージ（通りの名称など）を検討し、その実現に向けた具体策を推進
- 車両の通行を抑え、商店街や古道を歩行者優先の道路とする検討

など

- 歩行者同士の自然な交流が生まれる居場所をつくり、互いに支えあい住みやすい環境を形成する

- 子どもの居場所づくり（例：夏は木陰となり、冬はひだまりとなるポケットパークの検討）
- 高齢者や病気、障害をもつ方も利用しやすい居場所づくり（例：道路沿いにベンチ等の休憩所を設置）
- ゴミ出しルールと置場の検討

など

1

交通環境や都市風景を整え、歩行者が安全・快適に移動できる空間を創出する

2

通りごとに特色があり、歩いて楽しい魅力的な空間づくりを検討する

3

バリアフリー、ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安心して歩ける、優しいまちを目指す

- バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりルールを検討
- 案内や情報をわかりやすく伝えるサインや看板などを検討

など

取組の方向性 → 取組（案）

6

6つの取組の柱

にぎわい

エリアの特色と課題

①駅に近く人の往来が多い当エリアにおいて、阿佐谷らしい文化的なにぎわいを育む地域活動の拠点として、人々が集い交流できるイベント等を展開していくことが必要

②人々が自然に集い、買い物や病院を訪れる人々にとっても居心地の良い滞留空間を創出することが求められている

③商店街や鉄道事業者等と連携し、エリアのにぎわいや回遊性向上を図ることが求められている

④歴史と伝統のある阿佐谷の行事と連携し、エリアの魅力をより広く発信することが求められている



人々が交わりくつろぎにぎわう空間をつくる

- みどりや古道を活かしたイベントの企画
- 阿佐谷らしいエンターテイメントによる、にぎわいの拠点づくり

など

2

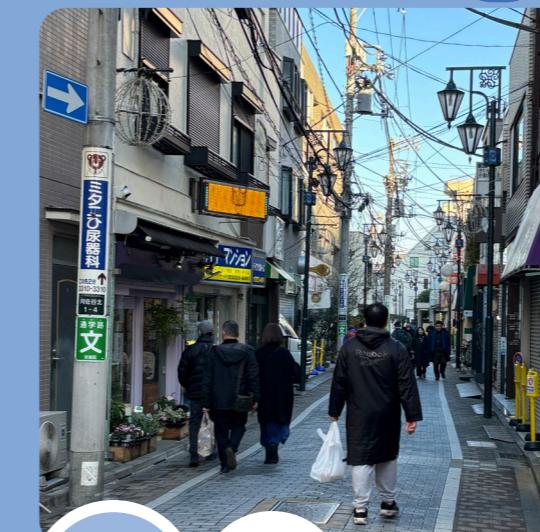
エリア全体に多様な滞留空間を設け、くつろぎとにぎわいが調和する空間を創出する

- ベンチや小さな休憩スペース、キッチンカーなど多様な規模やスタイルの滞留空間を設置
- 滞留空間にみどりの景観を取り入れる方法を検討

など

1

地域活動の拠点として、小学校跡地や既存施設を活用し、阿佐谷らしい文化的なにぎわいの創出を図る



取組の方向性 → 取組（案）

4

- 地域の文化的行事をエリア内に広く展開する方法の検討
- 地域の既存イベントへの参加や独自のイベントの検討

など

エリア内の伝統行事に加え、阿佐谷の既存イベントとも連携・協働し、地域の魅力を発信する

阿佐谷北東エリアまちづくり

阿佐谷北東エリアは、阿佐ヶ谷駅至近に住宅地や商店街、医療機関が集まる生活圏であるとともに、小学校や神社仏閣などの文化的施設が点在する、暮らしと地域活動が密接に関わるエリアです。

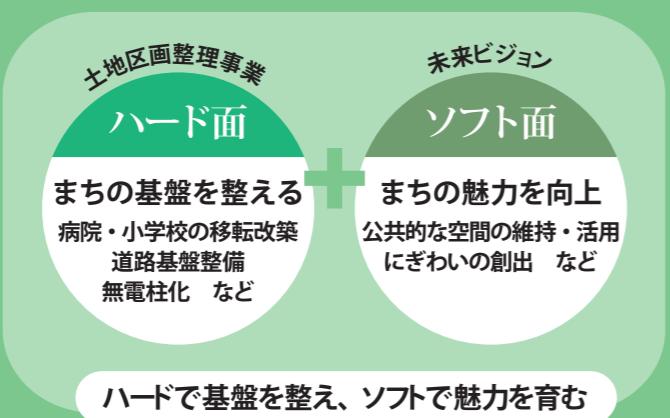
現在、このエリアでは、地区計画に加えて、病院や小学校の移転改築、道路基盤整備など、ハード面の事業（土地区画整理事業）が進行しています。

新たな敷地や公共的な空間が生まれる一方で、まちの魅力をさらに高めるためには、そうした空間を大切に使

い、生かしていく取組や、にぎわいを生み出すソフト面の活動を、地域の皆様が主体となって進めていくことが重要です。行政は、その取組が円滑に進むよう、関係組織と連携しながら、制度の活用など必要な支援を行っていきます。

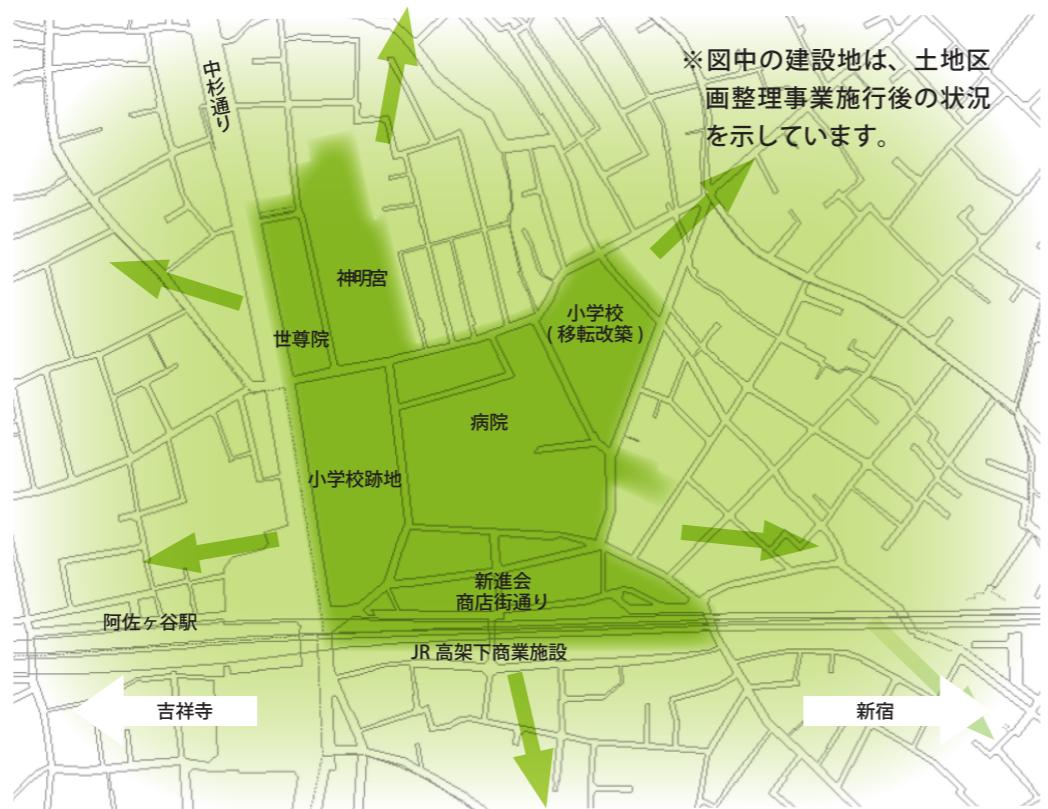
このように阿佐谷北東エリアでは、地域の皆様の主体的な活動を、行政が必要に応じて

支え、共に進める公民連携によるまちづくりを進めています。未来ビジョンは、こうした地域主体で進めるソフト面の取組をまとめたものです。



未来ビジョン対象エリア

事業の進捗に合わせて隣接するエリアと連携しながら展開し、対象エリアも順次拡大しながら、地域全体の発展を図っていきます。



阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会（エリアプラットフォーム）とは、このエリアに関わる多様な主体が連携し、エリアの将来を共に考え活動していくために、協議・調整を行うための場です。

阿佐谷北東エリアでは、「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」を立ち上げ、この未来ビジョンを作成しました。

- 会員の所属
- 阿佐谷北一丁目町会
 - 阿佐谷新進会商店街振興組合
 - 横興産株式会社
 - 株式会社 三杉
 - 宗教法人 神明宮
 - 宗教法人 世尊院
 - 社会医療法人 河北医療財団
 - 株式会社 ジェイアール東日本都市開発
 - 株式会社 計画工房
 - 株式会社 双葉
 - 杉並区

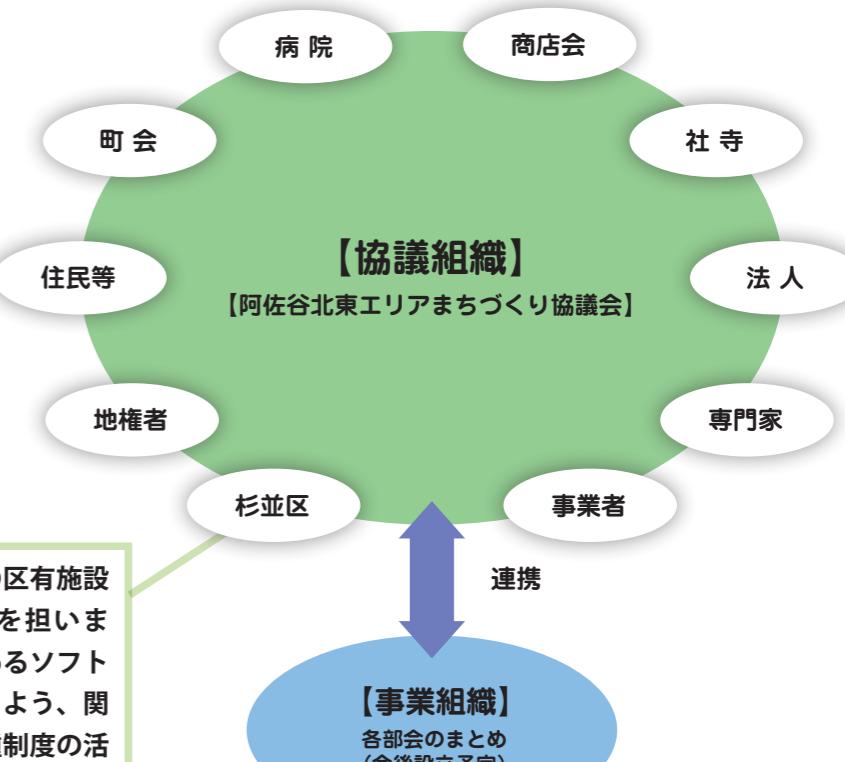
未来ビジョン作成までの経緯とこれまでの取組	
2021.10月	エリアプラットフォーム準備会 発足 (阿佐ヶ谷駅北東地区エリヤマネジメント推進懇談会)
2021.10～2023.3月	準備会会議開催 計7回
2021.11月	まち歩き～まちを知ろう、阿佐谷の歴史と古道について
2022.3月	古道ワークショップ～歩行者中心の緑豊かな道づくりについて意見交換
2023.2月	写真展 第1回開催
2023.3月	防災についての意見交換会
2023.8月	仮囲いアート「木と石ころ」
2023.11月	写真展 第2回開催
2024.10月	業者選定プロポーザル（未来ビジョン策定業務委託）
2025.2月	「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」発足
2025.2～2026.3月	協議会会議開催 計7回
2025.5月	未来ビジョンの骨子案についてワークショップ（あさがやまちづくりセッション第6回）
2025.11月	未来ビジョンの取組のアイデアについてワークショップ（あさがやまちづくりセッション第9回）
2025.11～12月	未来ビジョンの取組のアイデアについて意見募集（すぎなみボイス）
2026.2月	未来ビジョンの素案について意見募集（あさがやまちづくりセッション第10回・すぎなみボイス）
2026.3月	未来ビジョン完成

組織体制

協議会は対象エリアの拡大に合わせて活動の輪を広げるとともに、具体的な取組を進めるための実行組織を立ち上げ、各取組を実施する部会を設けていく予定です

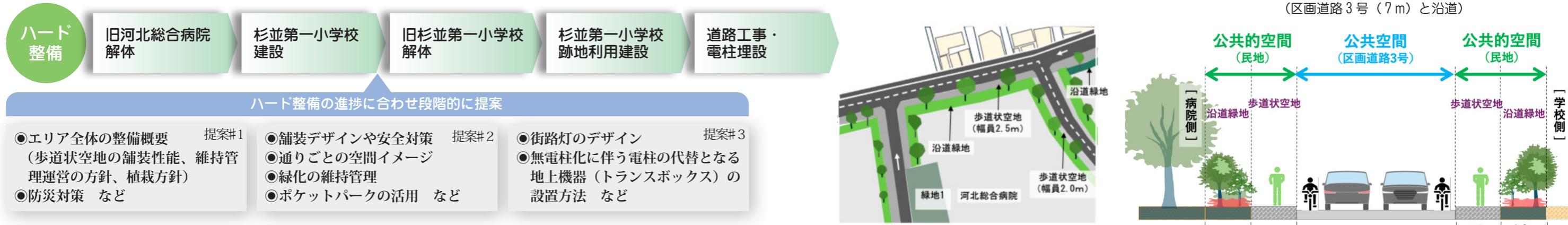
将来的には、協議会と実行組織が連携し、両輪となってまちづくりを進めることで、自立・自走できる持続可能なまちづくりを目指します

・杉並区は、エリア内の区有施設などハード面の事業を担います。また、地域で進めるソフト面の取組が実現できるよう、関係組織と連携し、各種制度の活用をサポートしていきます。

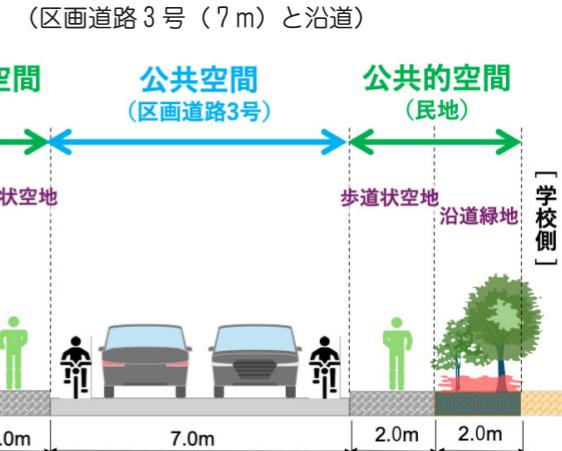


A ハード整備への提案

本エリアのまちづくりの方向性について検討し、
ハード整備の進捗に合わせて、段階的に提案をしていきます



【区画道路沿道の歩道状空地と沿道緑地のイメージ】



B 取組の柱ごとの活動イメージ

【短中期での取組を検討】



※参考として、これまでの活動事例の写真を掲載しています

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

(2026年3月発行)

発行：阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

制作：株式会社計画工房（デザイン 森 一典）

（お問い合わせ）

杉並区都市整備部 市街地整備課 抱点整備担当

03-3312-2111